キャラクター名	プレイヤー名
臺陀羅 朝(だいだら あさ)	

シンドローム	エンジェルハィロゥ ノイマン	**ワークス**	ヴィジランテ（BC）	**カヴァー**	
オプショナル		**年齢**	24歳	**性別**	男
覚醒	渇望	**衝動**	吸血	**初期侵食率**	39 %
出自	複数の兄弟姉妹	**経験**	被害者	**邂逅**	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	3		3			6
精神	4		0			4
社会	1		0			1

HP	26
行動値	16
(非装備時)	16
戦闘移動	21
全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**
白兵	1		射撃	4		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報： 噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンピストル	射撃	6r+4		8		この武器による命中判定の直前に使用。攻撃に対するリアクションのC値+1する。1シナリオ3回まで。
人月の神話	射撃	9r+4				コンセ+零距離射撃
タールの沼	射撃	9r+4				コンセ+零距離射撃+バレットワルツ
デスマーチ	射撃	9r+4				コンセ+零距離射撃+バレットワルツ+神機妙算

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
フォールンピストル	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
秘密兵器《トイボックス》	P	N		
姉弟たち	P 傾倒	N 偏愛		
もうひとりの自分	P 好奇心	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値+LV（下限値７）							
零距離射撃	3	2	メジャー	至近	-	<射撃>/対決	-	
効果： 組み合わせた攻撃のダイス+LV個する。組み合わせた攻撃は「射程：至近」となるが、同エンゲージ不可の武器でも使用できる。								
バレットワルツ	5	3	メジャー	武器	-	<射撃>/対決	リミット	
効果：	≪零距離射撃≫と組み合わせて使用。組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV*3]する。							
神機妙算	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	シンドローム	80	
効果：	組み合わせたメジャーアクションの対象を範囲（選択）に変更する。１シーンLV回まで。							
天からの眼	2	2	メジャー/リアクション	-	-	<射撃>/対決	-	
効果：	組み合わせた判定ダイス+LV個する。							
度胸試し	★	-	メジャー	-	-	-	-	
効果 :覚悟を示す儀式によって周囲を納得させるエフェクト。判定に成功することによって遺恨を水に流す、敵性勢力に頼みを聞いてもらうなどの無理を通す事ができる。どんな判定を行うかは内容に合わせてGMが決定する。								
メンチ切り	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果 :対象を震え上がらせ、屈服させるエフェクト。そのシーンの間、対象はあなたに恐怖し、言うことを聞くようになる。エキストラ以外には効果がない。他エフェクトの効果で操られているものなどにも効果がない。								
猟犬の鼻	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果 :嗅覚と視覚を直結し、においの粒子や細菌、ウィルス、粉じんなどを見分けることができるようになるエフェクト。どんな細かい粒子でも顕微鏡波に精度で"見る"事ができ、さらに一度でも見たにおいや粒子を覚えておくことができる。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「ここから先は俺の縄張りだ。手ぇ出すんなら相応の覚悟をするんだな」「ジャーム共、さぁ狩りの時間だ」

一人称：俺　二人称：～さん(目上)、アンタ、名字or名前呼び捨て

カソックを模した衣装を着て主にジャームを専門に狩るヴィジランテ。その衣装と銀色の弾を容赦無く撃ち込む姿から「銀の弾丸《シルバーバレット》」と呼ばれている。
彼が守るのは貧困から暮らしに困っている弱者たち。彼の年の離れた弟妹や自分たちの住む地域の生活をマフィア達や怪物などから守っている。
いつだったか、マフィアだかギャングだかを追い払った時に落としていった拳銃。それはレネゲイドに感染した回転式リボルバー銃≪シルバーバレット≫だった。それを手に取った時、朝は力を手に入れた。

両親は朝がまだ子供の頃に何処かへ消えた。事故なのか、自分達を捨てたのかは分からない。わざわざ調べる気も起きない。残されたたった三人だけの家族は朝にとって大切な存在だった。
何かと不思議な事に巻き込まれやすい妹と、変なものに好かれやすい弟は手が掛かるが、自分を素直に慕ってくれるふたりを守るのは自分にしか出来ない自分がやるしかない事だと思っていた。

朝が駆け付けた時にはもう、弟は息を引き取る間際だった。真昼の青空のような青色は、もう憧れを灯して自分を見ることは無い。

失ったいのちは帰らない。せめて、あの青を取り戻さなければ……